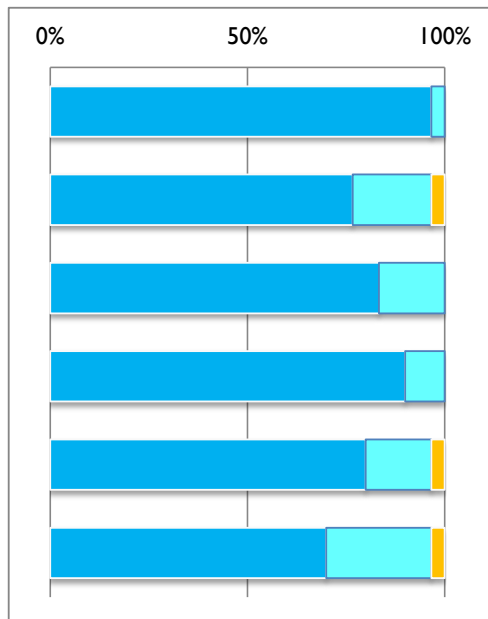


平成30年度甲西中学校学校評価（12月実施） 教職員自己評価の集計結果

4：そう思う 3：ややそう思う 2：あまりそう思わない 1：そう思わない

1 学校経営・組織・安全管理

評価項目	4	3	2	1	評価	
					後期	前期
1 学校教育目標の達成に向け、学校経営方針に基づき、学校運営がなされている。	29	1	0	0	4.0	3.9
2 教職員間の相互理解が十分になされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	23	6	1	0	3.7	3.5
3 教育活動が組織的に計画され、協力体制のもとで、実施されている。	25	5	0	0	3.8	3.8
4 校舎内外の施設設備について定期的に点検し、結果を的確に処理(整備・保全)している。	27	3	0	0	3.9	3.8
5 事故、事件、災害に対して迅速かつ適切な対応ができるようマニュアルを整備し、リスクマネジメント、クライシスマネジメントを行っている。	24	5	1	0	3.8	3.7
6 個人情報保護の観点から、生徒の個人情報に関する管理システムが確立されている。	21	8	1	0	3.7	3.6

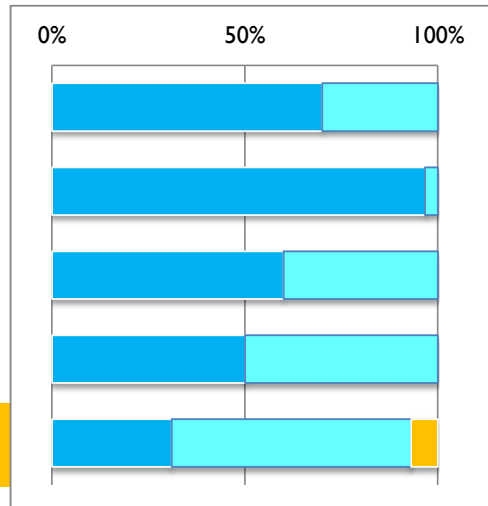


1 学校経営・組織・安全管理についての自由記述

- ・今年度は公開研究発表会に向けて、方向性が明確であったと思います。
- ・不審者対応訓練により、リスクマネジメントに対する意識が向上しました。
- ・学校全体が落ち着いてきたのは、先生方の相互理解、信頼関係の現れだと思えます。
- ・特別支援学級の生徒の情報については、もう少し工夫する必要があると思うが、あまりしっかりできなかった。
- ・学校教育目標の達成に向けチーム甲西で取り組んでいる。

2 教育課程・教科指導

評価項目	4	3	2	1	評価	
					後期	前期
7 学習指導要領に基づき、キャリア教育の視点も踏まえた教育課程が編成され、それに基づいた教育活動が行われている。	21	9	0	0	3.7	3.6
8 生徒の学習意欲と学力の向上のため、校内研究の柱である少人数による学び合いを取り入れた授業改善に取り組んでいる。	29	1	0	0	4.0	3.8
9 評価基準を明確にし、生徒の学習状況を分かりやすく、適切に評価している。	18	12	0	0	3.6	3.5
10 3年間を見通す中で計画的に総合的な学習が実施され、成果があがっている。	15	15	0	0	3.5	3.5
11 道徳の授業の充実に努めるとともに、他者を思いやる心や規範意識を育てる教育活動を、日常的に実施している。	9	18	2	0	3.2	3.3

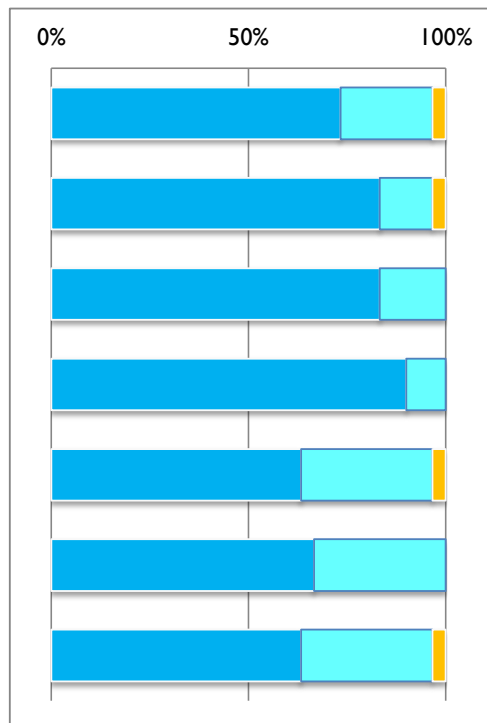


2 教育課程・教科指導についての自由記述

- ・今年度は道徳教育が上手にできなかったもので、さらに努力したい。
- ・市の指定研究のおかげで、全体で教科指導に取り組めたのは大きかったと思います
- ・総合的な学習の時間や道徳の時間に学年で行事関係のことをすることもあるので、計画に沿って進めていくように意識したい。
- ・校内研究会が有意義だった。

3 生徒指導・教育相談・特別支援

評価項目	4	3	2	1	評価	
					後期	前期
12 生徒の問題行動に対し、報告・連絡・相談の体制が確立され、共通理解の上で組織的に対応している。	22	7	1	0	3.7	3.6
13 いじめの早期発見に努めるとともに、早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	25	4	1	0	3.8	3.7
14 親との対応や関係諸機関との連携が、スムーズに行われている。(SC, SSW, SS等)	25	5	0	0	3.8	3.6
15 養護教諭やスクールカウンセラーなどと連携を図り、教育相談等に生かしている。	27	3	0	0	3.9	3.7
16 「子弟同行」が行われ、教師が生徒の模範や理解者・支援者となりえている。	19	10	1	0	3.6	3.4
17 不登校傾向のある生徒の支援に配慮し、必要に応じて関係機関と連携を図りながら対応している。	20	10	0	0	3.7	3.6
18 特別支援教育について共通理解が図られ、保護者や生徒の抱える諸問題に真摯に対応し、個別の支援計画に基づいて実施されている。	19	10	1	0	3.6	3.5

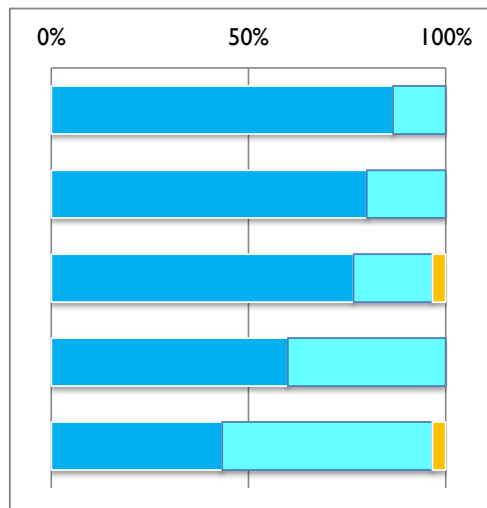


3 生徒指導・教育相談・特別支援についての自由記述

- ・いじめに対しては、日頃から生徒との信頼関係構築と落ち着いた環境づくり取り組み、常に心していきたい。
- ・様々な悩みや問題を抱えている生徒も増え、生徒一人ひとりに対応していくのは本当に難しくなっている。チーム学校で対応していきたい。
- ・個別の支援計画の活用がしっかりできなかった。
- ・個での対応でなく、チームとして対応できている。

4 特別活動

評価項目	4	3	2	1	評価	
					後期	前期
19 学校行事や生徒会活動(学年生徒会)の取組が、生徒の成長(自主性や協調性)や学校生活の充実につながっている。	26	4	0	0	3.9	3.8
20 部活動において、生徒が達成感を得られるよう、活性化するための工夫や配慮がなされている。	24	6	0	0	3.8	3.6
21 合唱を推進する活動が計画的、効果的に行われ、生徒の心の教育や集団づくりに役立っている。	23	6	1	0	3.7	3.5
22 朝のあいさつ運動などを通して、あいさつができる生徒の育成に努めている。	18	12	0	0	3.6	3.4
23 今日的な健康課題(薬物乱用・エイズ・熱中症等)について、専門機関との連携を図り、授業や講演を通して指導がなされている。	13	16	1	0	3.4	3.4

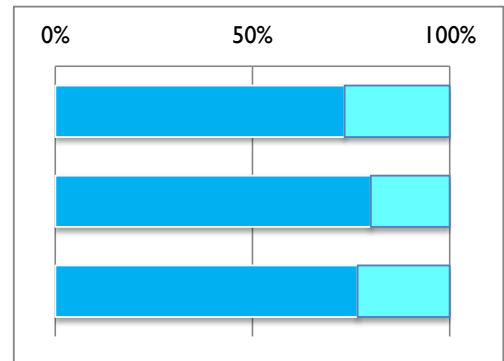


4 特別活動についての自由記述

- ・多くの活動がルーティンワークにならず、それぞれの担当の先生が想いを持って活動していることが素晴らしいと思います。
- ・全校生徒会と各委員会、学年の活動は、まだまだリンクできたり、協力できたりする部分があると思うので、3年生の声掛けに応じて全校で盛り上げていきたい。
- ・学校行事や生徒会活動が活発に行われていた。

5 保護者・地域との連携

学校評価項目	4	3	2	1	評 価	
					後期	前期
24 関係諸機関との連携により、外部との信頼の輪が広がり、教育活動や生徒指導に役立っている	22	8	0	0	3.7	3.4
25 生徒の学習や生活の様子を保護者に知らせ、保護者との相互理解を図り、連携している。	24	6	0	0	3.8	3.6
26 授業参観や学校開放日を適切に設けたり、学校・学年・学級だよりやホームページを活用したりして、学校内の情報を保護者や地域に適切に伝えている。	23	7	0	0	3.8	3.6



5 保護者・地域との連携についての自由記述

- ・なるべく情報を発信できるように努めています。
- ・3年生が総合の時間に防災や福祉をテーマに、地域の方を招いて授業を行ったことは、これから社会に開かれた教育課程を実現していくうえで貴重な取組といえるので、ぜひ継続して行ってほしい。
- ・保護者の理解を得られていると思う。

6 26項目以外の自由記述

- ・小中の交流があることはとても良いことだと思う。
- ・生徒も教員もよい雰囲気の中で活動ができていると思います。
- ・さまざまな先生方がそれぞれの持ち場で頑張っておられると感じています。さらにより良い甲西中にして「伝説の甲西中」を達成できるように努めます。

考察

はじめに

後期の自己評価は、前期との変化を比較することを考え、同じ質問項目で実施した。

後期の自己評価においては、26項目中22項目で前期の値を上回り、引き続き高い自己評価を示している。このことは、落ち着いた雰囲気の中で、生徒も教師も活動できていること、また今年度の取組によって、生徒の成長や教職員の充実感が得られたからではないかと考えられる。

また、生徒アンケートや保護者アンケートからも同じような傾向が見られ、甲西中学校全体に関わる評価項目においては、生徒アンケートにおいて6項目中5項目において、保護者アンケートにおいては12項目中5項目において前期の値を上回っている。

今後は、前期に比べて評価が低下した点、改善の傾向はみられるがまだ数値的に低い点について、問題点、課題点を洗い出しその改善に努めていきたい。

1 学校経営・組織・安全管理について

- ・ほとんどの項目において前期より高い評価を示している。
- ・学年間の連携も図られ、教職員が同じ方向性を持ってさまざまな活動に取り組んでいる。
- ・教職員を対象にした防犯訓練を警察と連携して行えたことは、危機管理マニュアルの見直しにもつながり有効的であった。

2 教育課程・教科指導について

- ・市の「学びの質を高める授業づくり推進事業」の指定研究を受け、全校体制で研究に取り組むことができ、授業改善につなげることができた。
- ・校内研究会においては、教科の授業が中心であったため道徳に関してはあまり深めることができなかった。来年度から教科書による「特別の教科道徳」が実施されるので、今年度のうちに少しでも実践に取り組んでいく必要がある。
- ・評価については少しずつ改善されてきているが、新学習指導要領における評価の在り方については、今後校内研究会などで取り上げ、評価方法も含め研究していく必要がある。

3 生徒指導・教育相談・特別支援について

- ・すべての項目において前期の値を上回り、改善されていると評価している教職員がほとんどである。
- ・いろいろな課題を抱える生徒や家庭が増える中で、学校内だけでなく、外部機関(福祉総合相談課や児童相談所など)とも情報共有が図られ、組織的に対応できている。
- ・いじめに関しては、改正した「学校におけるいじめ防止基本方針」を全教職員でしっかり確認し、学校全体でさらに組織的に取り組んでいく必要がある。
- ・特別な支援が必要な生徒や不登校への対応については、支援会議の中で個別の支援内容をしっかり共有し、さらなる改善に努めていく必要がある。
- ・落ち着いた学校生活が送られてきたが、この状態を維持していくためにも、現状に満足せず少しずつでも前進(改善)していく姿勢を持ち続けることが大切である。

4 特別活動について

- ・充実した活動が展開され、ほとんどの項目で前期の値を上回り、高い数値を示している。
- ・部活動については、自己評価だけでなく、生徒・保護者アンケートにおいても高い数値を示している。今後も教職員の過重負担にならないように「甲西中学校部活動の方針」にのっとり、改善を図っていく必要がある。

5 保護者・地域との連携について

- ・ほとんどの教員が、積極的に情報を発信したり、外部機関との連携を図ったりしたことを評価し、前期より大きく改善が見られた。
- ・新学習指導要領における「社会に開かれた教育課程」を実現していくためには、さらに学校を公開する機会を増やしたり、積極的に情報を発信したりして、保護者や地域と連携を深めていく必要がある。
- ・苦情を含め、保護者が学校に連絡をしてくることは、保護者との連携を深めるチャンスとしてとらえ、今後も保護者の声を聴く姿勢を大切にしながら、その対応に努めていきたい。

6 生徒・保護者アンケートより

- ・生徒、保護者アンケートとも、甲西中学校全体に対する評価項目においては、前期より数値が高くなっており、改善が見られた。
- ・自分自身の生活や自分の子供に対する生活面での評価においては、大きな変化はみられなかった。
- ・生徒、保護者アンケートとも、「自宅での読書」、「テレビの見方やスマホの使用」、「家庭学習の取組」については課題がみられる。
- ・授業においては、教職員が改善に取り組んでいることを生徒、保護者とも評価している点が見られる。しかし、保護者による授業の評価は参観する機会が少なく評価できないと回答してきた人もみられたので、来年度以降、評価項目から外すか、学校開放日を増やすかなどして対応策を考えていく必要がある。

メモ